

第 63 回応用物理学会春季学術講演会
2.放射線 分科企画シンポジウム

医学分野における RI 利用の現状と展望

Present and future use of radioisotopes in medical science

東京工業大学 大岡山キャンパス
2016 年 3 月 20 日 (日) 13:30~

放射性同位元素 (RI) は医療分野で広く利用されています。RI から放出される放射線を用いることで、外部からは見えない病気の場所を知ることや、がんなどの治療を行うことが可能となりました。近年、医学分野では科学の進歩がもたらした新しい診断法・治療法として RI 利用が注目されています。本シンポジウムは、RI を利用した画像診断や医薬品の開発、治療方法等について紹介し、医療関係者だけではなく多くの方々の関心を高め、当該分野のさらなる発展を目指します。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

◆ 講演予定

13:30-14:00 酒井真理 (群馬大学)

コンプトンカメラを用いた医学分野における RI イメージングの研究

14:00-14:30 渡部浩司 (東北大学)

PET 解析技術の開発

14:30-15:00 平野祥之 (群馬大学)

Geant4-DNA の放射線生物学への応用

15:15-15:45 永津弘太郎 (放射線医学総合研究所)

診断・治療に用いる放射性核種の製造

15:45-16:15 鷲山幸信 (金沢大学)

アイソトープ治療に対する α 放射体からのアプローチ

16:15-16:45 飯田靖彦 (鈴鹿医療科学大学)

新しい β^- 放出核種を用いた治療用放射性薬剤の開発

世話人:

山口充孝 (日本原子力研究開発機構)、石津秀剛 (日本アイソトープ協会)、
人見啓太郎 (東北大学)、越水正典 (東北大学)